



平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 アグロ カネショウ株式会社

コード番号 4955 URL <http://www.agrokanesho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 櫛引 博敬

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 角田 俊博

TEL 03-5570-4711

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	3,299	△18.4	390	△40.9	352	△47.4	180	△52.3
22年12月期第1四半期	4,043	2.8	661	△3.2	669	10.9	379	14.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	14.94	—
22年12月期第1四半期	60.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	18,723	12,292	56.2	869.23
22年12月期	17,684	11,874	57.8	1,688.26

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 10,528百万円 22年12月期 10,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
23年12月期	—				
23年12月期(予想)		0.00	—	20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,400	△0.2	1,160	11.7	1,140	12.8	730	31.5	59.62
通期	13,000	0.5	1,300	△5.5	1,260	3.2	800	△8.5	63.34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年12月期1Q 13,404,862株 22年12月期 6,702,431株

② 期末自己株式数 23年12月期1Q 1,291,936株 22年12月期 645,968株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年12月期1Q 12,112,926株 22年12月期1Q 6,321,523株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、第1四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) セグメント情報.....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9
(7) 重要な後発事象.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出の増加や政府の経済対策などの効果により、個人消費の持ち直しがみられはじまりましたが、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は電力供給や物流網をはじめとする社会インフラに深刻な打撃をあたえ、今後の日本経済に多大な影響を及ぼしつつあります。

国内農業業界におきましては、2月までは順調に推移したものの、3月の大震災及び原発事故により一時的な東北方面への交通の遮断、燃料不足、放射能漏れ、風評被害など大きな影響を受け、まだまだ被害程度の全容は把握できていない現状です。

このような状況のもと、当社グループも、主力の福島工場が被災し、代替の製造場の選定等手当てを急いだ結果、主要な製品につきましては、当面、外部への委託生産で対応できる目処が立ちましたが、一部の製品におきましては製造・流通が滞る状況が暫く続くものと思われます。

またこのような折にも、当社グループは引き続き、果樹、野菜、花卉などの園芸農家を中心に技術普及を重視した農家直結の営業方針を堅持し、農家、会員店・J A・販売店と当社グループを密に連携する「トライアングル作戦」を展開し、強力に需要の開拓と販売促進に努めてまいりました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は32億9千9百万円（前年同四半期比7億4千3百万円の減少、前年同四半期比18.4%減）、営業利益は3億9千万円（前年同四半期比2億7千万円の減少、前年同四半期比40.9%減）、経常利益は3億5千2百万円（前年同四半期比3億1千7百万円の減少、前年同四半期比47.4%減）、東北地方太平洋沖地震に伴う災害による損失を計上したため四半期純利益は1億8千万円（前年同四半期比1億9千8百万円の減少、前年同四半期比52.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は187億2千3百万円（前連結会計年度比10億3千8百万円の増加、前連結会計年度比5.9%増）となりました。これは売上増加による売上債権が9億9千7百万円増加する一方、固定資産が主に減価償却の実施により6千5百万円減少したことによるものであります。

（負債及び純資産）

当第1四半期連結会計期間末における負債は64億3千万円（前連結会計年度比6億2千万円の増加、前連結会計年度比10.7%増）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が7億9千5百万円増加する一方、長期借入金が返済により7千1百万円減少したことによるものです。純資産は122億9千2百万円となりました。その結果、自己資本比率は56.2%、1株当たり純資産額は869円23銭となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、49億5千7百万円（前連結会計年度末比3億7千1百万円の減少、前連結会計年度末比7.0%減）となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億7千2百万円の減少（前年同四半期比2億8千2百万円の減少、前年同四半期比148.6%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（2億9千9百万円）、減価償却費の計上（2億2千8百万円）、仕入債務の増加（7億5千2百万円）による収入及び、売上債権の増加（9億2千8百万円）、たな卸資産の増加（3億8千6百万円）、その他流動負債の減少（3億2千5百万円）による支出によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1千7百万円の減少（前年同四半期比3億2千7百万円の減少、前年同四半期比－%）となりました。これは主に、定期預金払戻による収入（1億8千6百万円）及び、定期預金預入による支出（2億5百万円）によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、7千1百万円の減少（前年同四半期比1億2千8百万円の増加、前年同四半期比64.1%減）となりました。これは主に、長期借入金の返済（7千1百万円）による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震の当社事業に及ぼす影響が不透明であることから、平成23年2月10日付けの「平成22年12月期決算短信」にて公表いたしました通期連結業績予想を据え置いております。今後、重要な変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は12,805千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は13,000千円であります。

② 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,269,126	5,611,875
受取手形及び売掛金	4,787,885	3,790,531
商品及び製品	1,414,203	1,343,258
仕掛品	319,116	307,751
原材料及び貯蔵品	1,272,581	965,560
繰延税金資産	97,665	44,864
その他	116,129	103,404
流動資産合計	13,276,708	12,167,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,939,245	1,966,016
機械装置及び運搬具（純額）	143,740	155,608
土地	548,262	548,262
その他（純額）	82,055	84,595
有形固定資産合計	2,713,304	2,754,483
無形固定資産		
のれん	2,104,994	2,107,484
その他	9,137	9,225
無形固定資産合計	2,114,132	2,116,710
投資その他の資産		
投資有価証券	121,991	119,104
繰延税金資産	314,643	334,434
その他	209,198	219,309
貸倒引当金	△26,800	△26,800
投資その他の資産合計	619,033	646,047
固定資産合計	5,446,470	5,517,242
資産合計	18,723,179	17,684,488
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,132,794	1,336,933
1年内返済予定の長期借入金	286,800	286,800
未払法人税等	209,437	87,777
災害損失引当金	21,000	—
その他	647,937	864,064
流動負債合計	3,297,970	2,575,574
固定負債		
長期借入金	1,498,100	1,569,800
退職給付引当金	424,793	426,802
役員退職慰労引当金	393,855	430,787
資産除去債務	13,000	—
その他	802,466	806,813
固定負債合計	3,132,214	3,234,203
負債合計	6,430,184	5,809,777

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,809,177	1,809,177
資本剰余金	1,805,164	1,805,164
利益剰余金	7,744,194	7,684,404
自己株式	△511,105	△511,105
株主資本合計	10,847,431	10,787,640
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,012	27,292
繰延ヘッジ損益	△24,484	△27,250
為替換算調整勘定	△322,988	△562,820
評価・換算差額等合計	△318,460	△562,779
少数株主持分	1,764,023	1,649,849
純資産合計	12,292,994	11,874,710
負債純資産合計	18,723,179	17,684,488

(2) 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	4,043,363	3,299,440
売上原価	2,395,394	1,964,954
売上総利益	1,647,968	1,334,486
販売費及び一般管理費	986,884	943,505
営業利益	661,084	390,980
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,157	1,177
受取地代家賃	777	968
為替差益	6,862	—
負ののれん償却額	5,875	—
その他	2,600	2,987
営業外収益合計	17,273	5,133
営業外費用		
支払利息	7,279	10,253
為替差損	—	32,754
その他	1,459	722
営業外費用合計	8,739	43,731
経常利益	669,618	352,383
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	523	9
貸倒引当金繰入額	8,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,740
災害損失	—	40,501
特別損失合計	8,523	53,250
税金等調整前当期純利益	661,095	299,132
法人税、住民税及び事業税	301,823	199,979
法人税等調整額	△61,732	△36,052
法人税等合計	240,090	163,926
少数株主損益調整前当期純利益	—	135,206
少数株主利益又は少数株主損失(△)	41,712	△45,713
当期純利益	379,293	180,919

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	661,095	299,132
減価償却費	264,265	228,017
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,740
災害による損失	—	40,501
負ののれん償却額	△5,875	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,073	△2,009
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,099	△36,932
受取利息及び受取配当金	△1,157	△1,177
支払利息	7,279	10,253
為替差損益(△は益)	1,757	△11,489
有形固定資産除却損	523	9
売上債権の増減額(△は増加)	△1,696,072	△928,809
たな卸資産の増減額(△は増加)	△75,484	△386,868
その他流動資産の増減額(△は増加)	4,975	△17,587
仕入債務の増減額(△は減少)	934,480	752,871
その他流動負債の増減額(△は減少)	△223,632	△325,063
その他	44,348	△19,027
小計	△77,469	△385,439
利息及び配当金の受取額	2,096	2,761
利息の支払額	△7,086	△10,196
災害による損失の支払額	—	△6,842
法人税等の支払額	△107,505	△72,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	△189,965	△472,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,799	△7,832
有形固定資産の売却による収入	13	—
貸付金の回収による収入	2,600	9,260
定期預金の預入による支出	△233,218	△205,375
定期預金の払戻による収入	569,733	186,770
投資活動によるキャッシュ・フロー	310,329	△17,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△71,700
自己株式の取得による支出	△364,050	—
配当金の支払額	△235,997	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,047	△71,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55,729	190,176
現金及び現金同等物の増加額	△135,413	△371,045
現金及び現金同等物の期首残高	3,838,052	5,328,085
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,702,639	4,957,039

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める農薬事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,666,142	377,220	4,043,363	—	4,043,363
(2) セグメント間の内 部売上又は振替高	—	634,423	634,423	(634,423)	—
計	3,666,142	1,011,644	4,677,786	(634,423)	4,043,363
営業利益	556,483	67,239	623,722	37,361	661,084

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
欧州………ベルギー王国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

	欧州	その他	計
I 海外売上高（千円）	381,773	252,945	634,719
II 連結売上高（千円）	—	—	4,043,363
III 連結売上高に占める海 外売上高の割合（%）	9.4	6.3	15.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
………ベルギー王国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

当社グループは、農薬の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。